

## 環境目的・目標達成状況評価表（平成18年度）

作成年月日：平成19年6月14日

環境管理責任者	ISO事務局長
	

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
<b>（施策）樽前山麓の森林の保全、育成、充実を図る</b>										
森林の働きを十分に発揮させるため、人工林を針広混交複層林へ誘導する	◎：5目標 ○：2目標 ー：0目標 ×：0目標	○	1	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			2	「苫小牧市森林整備計画」の周知等、市内の森林整備の方針について広く市民に周知する。	上	市内の森林整備の方針について、植樹祭や講演会等の際に周知を行う。	5月に行われた市民植樹祭等の機会に参加者の皆さんにお話をしています。	◎	緑地公園課	◎
					下	市内の森林整備の方針について、植樹祭や講演会等の際に周知を行う。	3月に行われた森づくり懇話会で参加者の皆さんにお話をしています。	◎		
			3	産官学民の連携により、間伐材等を有効利用する木質バイオマスエネルギーについて、実用性の可能性について研究する。	上	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する。	別紙のとおり総会に参加、トウモロコシの実験栽培をスタートさせた。	◎	空港港湾課	◎
					下	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する。	当期間に会議等の開催はなかった	ー		
			4	森林機能の充実が図られるよう、必要に応じ森林所有者に対し指導等を行う。	上	台風被害の復旧等を通じ森林機能の充実が図られるよう、森林組合と連携して指導を行う。	11月に予定しています。	ー	緑地公園課	○
					下	〃	11月に森林機能の充実が図られるよう主な所有者に対し、指導を実施。	○		
			5	市内国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る。	上	関係機関からの要請に応じ、協力を行う。	5月に関係機関からの要請で国有林内のゴミ拾いを実施しました。	◎	緑地公園課	◎
					下	関係機関からの要請に応じ、協力を行う。	11月に関係機関からの要請で国有林内のゴミ広いを実施しました。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価				
			6	開発行為の際に必要な法、条例等の規制について広く周知し、関係機関連携のもと指導にあたる。	上	法の周知とともに、届出審査、指導及び調査等並びに関係機関等の連絡調整の実施	関係事業者に苦小牧市ホームページの確認を要請し、関係資料を配布して周知徹底。	◎	開発管理課	◎			
					下	法の周知とともに、届出審査、指導及び調査等並びに関係機関等の連絡調整の実施	関係事業者に苦小牧市ホームページの確認を要請し、関係資料を配布して周知徹底。	◎					
			7	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う。	上	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。	◎	環境生活課	◎			
					下	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。	◎					
森林ボランティアの活動により森林の荒廃を防ぐ思想を育てる。	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	8	森林ボランティアの活動機会を創出し、情報提供を行う。	上	・関係機関との連携により、活動機会を設ける。 ・関係機関からの要請に応じ、市民周知を実施する。	5月の植樹祭に参加していただき、森林復旧の協力を受ける。	◎	緑地公園課	◎			
					下	関係機関からの要請に応じ、市民周知を実施する。	11月にウトナイユースホテル後跡地で、森林復旧に向け植樹の協力を受ける。	◎					
			9	国や道が実施する森林ボランティア養成事業に、要請に応じ協力を行う。	上	関係機関からの要請に応じ、可能な範囲内で協力を行う。	関係機関からの要請はこれまでのところありません。今後要請があれば可能な範囲内で協力します。	—	緑地公園課	—			
					下	関係機関からの要請に応じ、可能な範囲内で協力を行う。	関係機関からの要請はこれまでのところありません。今後要請があれば可能な範囲内で協力します。	—					
			<b>（施策） 苦小牧東部地域の森林の保全と里山的利用を進める</b>										
			苦小牧東部地域の開発にあたっては、森林の連続性を確保しながら保全していく	◎：2目標 ○：0目標 —：3目標 ×：0目標	◎	10	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う。	上	自然保護に有用な調査研究結果の収集を行う。	日本野鳥の会から情報収集を行った。	◎	環境生活課	◎
下	自然保護に有用な調査研究結果の収集を行う。	日本野鳥の会から情報収集を行った。						◎					

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価					
			11	「苦小牧市企業立地振興条例」に基づく緑化助成制度の継続と、周知に努める。	上 期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する。	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を行い、緑化保全を推進した。	◎	企業誘致主幹	◎			
					下 期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する。	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を行い、緑化保全を推進した。	◎					
			12	関係機関連携のもと、苦小牧東部地域に係る環境影響評価書及び市の基本方針に基づき、東部地域の自然環境を保全する。	上 期	市の基本方針を広く周知するとともに、工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う。	当期間に問題となる工場等の新增設はなかった。	—	空港港湾課	—			
					下 期	市の基本方針を広く周知するとともに、工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う。	当期間に問題となる工場等の新增設はなかった。	—					
			13	苦小牧東部開発に関する市の基本方針見直しにあたっては、市民意見反映の機会を設ける。	上 期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける。	当期間に方針の見直しはなかった。	—	空港港湾課	—			
					下 期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける。	当期間に方針の見直しはなかった。	—					
			14	苦小牧市企業立地審議会条例に基づき、市民意見を反映させる。	上 期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—	空港港湾課	—			
					下 期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—					
			苦小牧東部地域の森林を、市民の学習やいこいの空間として里山的利用を進める	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	15	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、場の活用について検討を行う	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
								下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			16	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけた働きかけを継続する。	上 期	関係機関への働きかけの実施	企画調整部から7月に国等へ要望している。企画課ホームページをご覧ください。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	実施予定なし	実施予定なし	—		

(施策) 森林公園など市街地周辺の大規模な自然緑地を保全する

森林公園など市街地周辺の森林機能の充実を進めるとともに、自然生態系が維持されるよう周辺生態系も含めて保全する	◎：5目標 ○：1目標 —：1目標 ×：0目標	○	17	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う。	上 期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。	◎	環境生活課	◎
					下 期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請はなかった。	—		
			18	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			19	市民の参加・協力を得ながら、森林公園等市街地周辺の森林整備を行う。	上 期	関係機関との連携により植樹を行う。	風倒被害地50haの内、今年度は11月までに12haが完成する予定です。（残27ha処理予定）	◎	緑地公園課	◎
					下 期	実施予定なし	今年度は11月までに12haが完了。	◎		
			20	緑化推進基金の活用やクリーンアップサポーター制度の推進等により、技術支援も含めて市民の活動支援を行う。	上 期	市民団体等から相談の都度、制 可 能な範囲で活動支援を行う。	錦岡地区の緑地の一部を「苫小牧クリーンアップサポーター制度」により市民が維持管理（一部）を実施。今後も要請があれば可能な範囲で対応する。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	市民団体等から相談の都度、制 可 能な範囲で活動支援を行う。	錦岡地区の緑地の一部を「苫小牧クリーンアップサポーター制度」により市民が維持管理（一部）を実施。今後も要請があれば可能な範囲で対応する。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価					
			21	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	上	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	今期間に対策に関する事案はなかった。	—	清掃事業課	—			
					下	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	今期間に対策に関する事案はなかった	—					
			22	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	上	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回実施	◎	清掃事業課	◎			
					下	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回実施	◎					
			23	新聞等による周知、啓発の実施	上	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄多発地域への防止看板及び鳥居の設置	◎	清掃事業課	◎			
					下	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄多発地域への防止看板及び鳥居の設置	◎					
			森林公園など市街地周辺の森林を、生息する動植物と人間が自然の中でふれあいを持てるような場として活用する	◎：1目標 ○：1目標 —：1目標 ×：0目標	○	24	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけた働きかけを継続する。	上	関係機関への働きかけの実施	企画調整部から7月に国等へ要望している。企画課ホームページをご覧ください。	◎	緑地公園課	◎
								下	実施予定なし	実施予定なし	—		
						25	緑の基本計画に基づき、場所の提供や人材づくり等を進め、身近な森林での環境学習を推進する。	上	学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う。	これまでのところ要請がない。今後も要請があれば可能な範囲で対応する。	—	緑地公園課	—
								下	学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う。	これまでのところ要請がない。今後も要請があれば可能な範囲で対応する。	—		
						26	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動支援策について検討を行う	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
								下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
(施策) 苦小牧のおいしい水を守る										
水源周辺の森林内容の充実や立ち入りの制限、廃棄物の不法投棄防止など水源の汚染防止対策を進める	◎：6目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	27	水源周辺の森林保全と機能充実を図るため、国有林の台風被害復旧や針広混交林への計画的移行などについて関係機関に働きかけを行う。	上 期	実施予定なし	—	水) 建設課	○	
				下 期	台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会での要望を要請する。	要望は提出していないが、水源付近の倒木処理を実施した。	○			
			28	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る。	上 期	実施予定なし	11月に予定しています。関係部署と連携をとって要望します。	—	緑地公園課	◎
					下 期	関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う。	11月国有林野等所在地市町村長有志協議会で要望を行う。	◎		
			29	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う。	上 期	定期的なパトロールの実施	計画どおり実施した。	◎	高丘浄水場	◎
					下 期	定期的なパトロールの実施	計画どおり実施した。	◎		
			30	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う。	上 期	定期的にパトロールを実施して、水源の環境監視を行う。	週1回のパトロールの実施。5月19日に河川清掃。8月に「水を汚染から守る会」を発足。錦岡橋、樽前橋に不法投棄防止ネット設置。	◎	錦多峰浄水場	◎
					下 期	定期的にパトロールを実施して、水源の環境監視を行う。	週1回のパトロールの実施/「水を汚染から守る会」で11月16日に河川清掃を実施	◎		
			31	要綱の趣旨を周知し、また事前協議を行うことにより、不法投棄や汚染水の排水などによる水源の汚染を未然に防止する。	上 期	市広報紙及び水道部HPにより周知	水道部HPに公開中。	◎	水) 建設課	◎
					下 期	水道部広報紙「水だより」及び水道部HPにより周知	「水だより」21号を、12月に発行。水道部HPは引き続き公開中。	◎		
			32	水源に影響を及ぼすと考えられる箇所の把握とともに、ゴミの投げ捨てや汚濁水流入防止など水源汚染防止対策を計画的に進める。	上 期	影響箇所の把握	月に1回実施している河川流量観測時に併せ、影響箇所の把握に努めた。	◎	水) 建設課	◎
					下 期	汚染防止対策の検討	橋上からのゴミの投棄を防止するため、錦岡橋及び樽前橋に投棄防止柵を設置した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			33	水道見学会や「丸山水源の森」の植樹会などを実施し、水源と森林保全の重要性を体験することにより周知を図る。	上 期	水道施設見学会の実施	6月4日、錦多峰浄水場施設と周辺の見学会及び高丘浄水場の一般開放を実施した。	◎	水)建設課	◎
					下 期	実施予定なし	—	—		

(施策) 河川の良好な環境を保全する

河川への排水や廃棄物の不法投棄などに対する規制を強化し、多様な生物の生息環境を創造する	◎：5目標 ○：4目標 —：1目標 ×：0目標	○	34	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			35	活動実態の把握とともに、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う。	上 期	市民等からの要請に応じ、可能な範囲で支援を行う。	協力要請がなかった。	—	河川課	—
					下 期	市民等からの要請に応じ、可能な範囲で支援を行う。	協力要請がなかった。	—		
			36	その都度可能な範囲で支援を行う	上 期	その都度可能な範囲で支援を行う	まちをきれいにする日で河川のある町内会は、河川付近の清掃活動を実施。活動に際し、ゴミ袋の提供、収集の支援を行った。	◎	清掃事業課	◎
					下 期	その都度可能な範囲で支援を行う	まちをきれいにする日で河川のある町内会は、河川付近の清掃活動を実施。活動に際し、ゴミ袋の提供、収集の支援を行った。	◎		
			37	各種法令・条例の周知および指導により、河川の水質環境を保全する。	上 期	必要に応じて関係機関連携により指導を行うとともに、ゴルフ場での農薬使用による汚染防止のための対策を行う。	下期に使用量を調整する。環境省北海道事務所の調査照会に対応した。	○	環境保全課	○
					下 期	必要に応じて関係機関連携により指導を行うとともに、ゴルフ場での農薬使用による汚染防止のための対策を行う。	農薬使用量を把握した。ゴルフ場の水質測定結果を把握した。	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			38	可能な範囲内で、河川のパトロール及び対象事業所等への立入調査を実施し指導を行う。	上期	河川の目視調査及び対象事業所等への立入調査を可能な範囲内で行なう。	外勤の途中に、河川の目視調査を実施、又、数箇所の事業所の調査を実施。不法投棄はなし	◎	下) 施設管理課	◎
					下期	河川の目視調査及び対象事業所等への立入調査を可能な範囲内で行なう。	外勤の途中に、河川の目視調査を実施、又、数箇所の事業所の調査を実施。不法投棄はなし	◎		
			39	合流改善事業の計画的実施	上期	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	策定完了	◎	下) 計画課	◎
					下期	事業計画を具体化し、次年度の事業箇所を決定する	策定完了	◎		
			40	水洗化を促すため、未水洗化世帯に対する指導を行う。	上期	未水洗化世帯に対し、水洗化に係る文書通知や貸付制度のPRを行い、下水道供用開始後の水洗化を促進する。	受益者負担金の納入督促のための電話や文書による催促時に、水洗化のPR等を行なった。	◎	下) 総務課	◎
					下期	未水洗化世帯に対し、水洗化に係る文書通知や貸付制度のPRを行い、下水道供用開始後の水洗化を促進する。	受益者負担金の納入督促のための電話や文書による催促時に、水洗化のPR等を行なった。	◎		
			41	関係機関連携のもと、水質監視および指導を行い、結果を公表する。	上期	関係機関との連絡調整により状況の把握を行い、結果を公表する。	17年度の北海道の調査結果を把握している。	○	環境保全課	○
					下期	関係機関との連絡調整により状況の把握を行い、結果を公表する。	環境白書により17年度の北海道及び苫小牧市の調査結果を公表した。	○		
			42	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する。	上期	連絡協議会等への参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	会議等の実施がなかった。	—	河川課	○
					下期	連絡協議会等への参加をする。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	第7回美々川自然再生技術検討委員会に参加(3/13)	○		
			43	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う。	上期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う。	北海道へ重点要望を出した。	◎	環境生活課	◎
					下期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う。	調整を行う必要がなかった。	—		



環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 生態系に配慮した、親水機能を備えた河川整備を進める</b>										
生態系に配慮し、河川を生き物とふれあえる親水空間として整備する	◎：0目標 ○：3目標 —：3目標 ×：0目標	○	44	河川整備の際には、環境基本計画との整合を図りながら河川整備基本方針を策定し公表する。	上期	方針策定を要する整備が生じた際、関係部署と連携のもとに実施する。	方針策定を要する整備がなかった。	—	河川課	—
					下期	方針策定を要する整備が生じた際、関係部署と連携のもとに実施する。	方針策定を要する整備がなかった。	—		
			45	河川整備の際には、住民の意見を取入れながら河川整備計画を策定し公表する。	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する。	計画策定を要する整備がなかった。	—	河川課	—
					下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する。	計画策定を要する整備がなかった。	—		
			46	市管理外の市内河川における河川整備計画策定の際、必要に応じ住民の意見を取り入れ公表を行うよう関係機関に働きかけを行う。	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する。	計画策定を要する整備がなかった。	—	河川課	—
					下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する。	計画策定を要する整備がなかった。	—		
			47	河川改修や整備の際には「北海道環境配慮指針」などを参考にしながら、生態系に配慮を行う。	上期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する。	小泉の沢川改修工事において魚がのぼりやすい形状での改修を実施した	○	河川課	○
					下期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する。	錦岡川改修工事において生態系に配慮した改修を行った	○		
			48	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する。	上期	連絡協議会等への参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	会議等の実施がなかった。	—	河川課	○
					下期	連絡協議会等への参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	第7回美々川自然再生技術検討委員会に参加 (3/13)	○		
			49	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
(施策) 多様な生物の生息環境である湿原とその周辺を一体的に保全する										
湿原に親しみ、その価値を正しく認識して開発抑制を図るなど、保全に努める	◎：2目標 ○：4目標 —：1目標 ×：0目標	○	50	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う。	上 期	申し出の都度検討を行う。	—	環境生活課	—	
					下 期	申し出の都度検討を行う。	保全地区指定の申し出はなかった	—	—	
			51	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	—	
			52	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する。	上 期	連絡協議会等への参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	会議等の実施がなかった。	—	河川課	○
					下 期	連絡協議会等への参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う。	第7回美々川自然再生技術検討委員会に参加（3/13）	○	—	
			53	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う。	上 期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う。	北海道へ重点要望として提出した。	◎	環境生活課	◎
					下 期	必要に応じ、関係機関との調整、働きかけを行う。	道の担当課に進捗状況の確認及び早期実現の要請を行った。	◎	—	
			54	新たな保全対策の検討材料とするため、ウトナイ周辺の環境調査を計画的に実施する。	上 期	実施予定なし	—	—	環境生活課	◎
					下 期	調査実施のための予算計上を行う。	予算要求を行った。	◎	—	
			55	美々川水系調査をはじめウトナイ湖への流入河川の水質・水量のモニタリングを関係機関連携のもと継続して実施する。	上 期	調査の実施及び結果公表	17年度の北海道の調査結果を掌握し、上期の苫小牧市の調査を実施した。	○	環境保全課	○
					下 期	調査の実施及び結果公表	環境白書により17年度の北海道及び苫小牧市の調査結果を公表した。	○	—	

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			56	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動支援策について検討を行う	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		

（施策）市民が身近にふれあえる緑豊かな都市公園づくりを進める

地域住民のニーズや特性にあった公園を住民参加で作成、管理運営を進める	◎：4目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	57	「緑の基本計画」に基づき、公園づくりに広く市民・事業者の声・アイデアを取り入れるためのしくみを検討する。	上 期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、地域の町内会の意見聴取を行う。	公園の新設や再整備の都度、地域の町内会の意見聴取を行い整備している。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、地域の町内会の意見聴取を行う。	公園の新設や再整備の都度、地域の町内会の意見聴取を行い整備している。	◎		
			58	緑の基本計画に基づき、公園整備を計画的に行う。	上 期	整備の実施	今年度の整備予定については、緑地公園課HP等で市民の皆様へ周知しています。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	整備の実施	今年度の整備予定については、緑地公園課HP等で市民の皆様へ周知しています。	◎		
			59	郷土に合った樹種により、公園等の緑化を進める。	上 期	郷土の樹種による緑化整備実施	市の木ナナカマドを主体に1路線・5公園（緑地含）で植栽を実施。今後も継続して植樹を行う予定。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	郷土の樹種による緑化整備実施	郷土樹種であるエゾヤマザクラを主体に3公園・1施設で植樹を実施。今後も継続して植樹を行う。	◎		
			60	「トマコマイクリーンアップサポーター制度」を推進する。	上 期	制度の周知とともに、既存登録団体に必要に応じて支援を行う。	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。登録団体に公園の維持管理等で資材の支援を行っています。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	制度の周知とともに、既存登録団体に必要に応じて支援を行う。	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。登録団体に公園の維持管理等で資材の支援を行っています。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 街中の緑を地域ぐるみで守り育てる</b>										
公共施設や事業所敷地の緑化を、景観の向上を図りながら、地域ぐるみで推進する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	61	「緑の基本計画」の市民の認識を高めるための対策を講じる。	上 期	ホームページでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める。	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	ホームページでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める。	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。	◎		
			62	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める。	上 期	市民植樹祭の実施や、町内会や学校への緑化支援の実施	5月に高丘森林公園内で第36回市民植樹祭を実施。また、22町内会と4団体及び29小中学校に対し緑化樹木等の支援を実施。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	11月にウトナイユースホステル跡地で、森林復旧に向け植樹の協力を受ける。	◎		
<b>(施策) 市街地を緑の回廊で結ぶ並木道の整備を進める</b>										
市街地周辺の森林と市街地の緑地を街路樹で結び、野鳥などを呼び込む緑の回廊として地域ぐるみで整備を進める	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	63	郷土に合った樹種により、沿道及び公園等の緑化を進める。	上 期	郷土の樹種による緑化整備実施	ナナカマドを主体に1路線・5公園（緑地含）で植栽を実施。今後も継続して植樹を行う予定。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	郷土の樹種による緑化整備実施	郷土樹種であるエゾヤマザクラを主体に3公園・1施設で植樹を行う。	◎		
			64	街路樹の維持管理を計画的に行う。	上 期	街路樹の維持管理実施	良好な景観を保つよう、生垣の刈込みや除草を主体に実施。今後は剪定を主体に実施予定。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	街路樹の維持管理実施	良好な景観を保つよう、高木の剪定を実施。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			65	「トマコマイクグリーンアップサポーター制度」を推進する。	上	周知実施	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。登録団体に公園の維持管理等で資材の支援を行っています。	◎	緑地公園課	◎
					下	周知実施	緑地公園課HP等で制度の周知を図っています。登録団体に公園の維持管理等で資材の支援を行っています。	◎		
大気汚染や騒音、塩害・風害等に対する緩衝機能を有する街路樹の充実を図る	◎：1目標 ○：1目標 －：0目標 ×：0目標	○	66	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			67	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する。	上	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう、生垣の刈込みや除草を主体に実施。今後は剪定を主体に実施予定。	◎	緑地公園課	◎
					下	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう、高木の剪定を実施。	◎		

(施策) 海浜の自然環境を再生し、保全に努める

海辺の多様な自然生態系を保全し、憩い遊べる海浜に再生する	◎：3目標 ○：1目標 －：0目標 ×：0目標	○	68	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			69	関係機関との連携・協力により、漁礁や離岸堤設置、緩傾斜護岸整備など生態系保全対策を計画的に行う。	上	道が行うマツカワ種苗放流事業に積極的に協力するとともに、関係機関と連携し、生態系保全対策事業が実施される場合は積極的に協力する。	マツカワ種苗放流事業に伴い、漁協及び関係機関と共に放流種苗に標識の装着作業を実施、8月9日には伊達市から3万3千匹の種苗を移送して苫小牧沖に放流した。	◎	農業水産課	◎
					下	”	市の単独事業で、魚類の蟄集及び増殖を目的に汐見町沖海域に間伐材魚礁5基を設置した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			70	生態系調査など関係機関で実施する調査結果の把握を行う。	上期	関係機関が生態系調査を実施した場合は、結果報告書の提出を依頼する。	苫小牧管内河川にししゃもの遡上があるため、関係機関と共に基礎調査の実施に向けて協議を行った。	◎	農業水産課	◎
					下期	〃	関係機関の指導を受け、別々川でししゃもの遡上調査及び水温測定を実施し、産卵状況調査を実施した。	◎		
			71	関係機関との連携・協力により、離岸堤設置による海岸浸食防止対策等、自然環境保全対策を計画的に進める。	上期	自然環境保全対策に関する協議の機会があれば積極的に参加し、関係機関と連携・協力する。	苫小牧市内の河川工事の概要説明と工事に伴う諸問題を対応する河川工事連絡協議会に参加した。また、関係機関と連携協力し、台風により海岸に打ち上げられた流木の処理を実施した。	◎	農業水産課	◎
					下期	〃	関係機関からの協力要請がなかった。	—		
海やそこに流れ込む川への廃棄物の不法投棄を防ぐとともに、ゴミのないきれいな海浜にする	◎：3目標 ○：1目標 —：1目標 ×：0目標	○	72	関係機関連携のもと、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う。	上期	関係機関連携による周辺パトロールの強化及び海岸清掃の実施し、またアダプトプログラム導入の検討を実施する。	関係機関連携による海岸清掃を実施（7/18実施 写真添付）	○	河川課	○
					下期	関係機関連携による周辺パトロールの強化及び海岸清掃の実施し、またアダプトプログラム導入の検討を実施する。	月1回程度のパトロールを行い、不法投棄等の確認の際には管理者への連絡を実施した。	○		
			73	その都度可能な範囲で支援を行う	上期	その都度可能な範囲で支援を行う	ボランティア団体等の清掃活動を実施、活動に際し、ゴミ袋の提供、収集の支援を行なった	◎	清掃事業課	◎
下期	その都度可能な範囲で支援を行う	ボランティア団体等の清掃活動を実施、活動に際し、ゴミ袋の提供、収集の支援を行なった	◎							

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			74	新聞等による周知、啓発の実施	上期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄に対する啓発活動を行なうとともに未然防止のためパトロールを強化	◎	清掃事業課	◎
					下期	新聞等による周知、啓発の実施	不法投棄に対する啓発活動を行なうとともに未然防止のためパトロールを強化	◎		
			75	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	上期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	今期間に対策に関する事案はなかった	—	清掃事業課	—
					下期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止対策の実施	今期間に対策に関する事案はなかった	—		
			76	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	上期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回実施	◎	清掃事業課	◎
					下期	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	市内全域の巡回実施	◎		

(施策) 海洋汚染の防止に努める

海域に放流される工場排水の水質改善や、船舶の航行にともなう油漏れ、あるいは新たな汚染物質への対応によって、海洋汚染対策を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	77	所管官庁の取組についての情報を把握するとともに、必要に応じ対策の働きかけや協力をを行う。	上期	関係機関との連絡調整により状況把握を行うとともに、海域の水質状況の公表を行う。	17年度の北海道の調査結果を掌握している。	○	環境保全課	○
					下期	関係機関との連絡調整により状況把握を行うとともに、海域の水質状況の公表を行う。	環境白書により17年度の北海道及び苫小牧市の調査結果を公表した。	○		
			78	関係機関及び部署に対し「苫小牧市地域防災計画」の周知と、海上災害の予防並びに発生時の協力体制を確立する。	上期	海上災害予防計画の点検と関係機関及び部署との連携により、海上火災及び油流出等の予防措置を行う。	左記を行なった。	◎	防災主幹	◎
					下期	海上災害予防計画の点検と関係機関及び部署との連携により、海上火災及び油流出等の予防措置を行う。	左記を行なった。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			79	関係法令および協定に基づく、監視および規制、指導を行う。	上期	協定に基づく立入調査を行い、必要に応じ指導を行う。	上期に予定していた11社立入調査を実施した。	◎	環境保全課	◎
					下期	協定に基づく立入調査を行い、必要に応じ指導を行う。	下期に予定していた8社立入調査を実施した。	◎		
家庭や事業所での排水の汚濁に配慮し、下水処理の負担を軽減する	◎：5目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	80	合流改善事業の計画的実施	上期	雨水吐に設置するスクリーンの検討を進める	実施設計を外注した	◎	下) 計画課	◎
					下期	雨水吐に設置するスクリーンの検討を進める	策定完了	◎		
			81	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターンシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	学校等団体の要請により、施設見学やインターンシップの場を業務に支障のない範囲で提供する。	施設見学、小学校4年生 7校 人数556名、別紙のとおり。インターンシップ1名。	◎	高砂下水処理センター	◎
					下期	学校等団体の要請により、施設見学やインターンシップの場を業務に支障のない範囲で提供する。	今期間に施設見学、インターンシップの要請はなかった。	—		
			82	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターンシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める。	施設見学を6回、学生のインターンシップを2名受け入れた。	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める。	施設見学を3回受け入れた。	◎		
			83	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターンシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る。	上期	学校等団体の要請により、施設見学やインターンシップの場を業務に支障のない範囲で提供する。	苫小牧高専のインターンシップを始め、泉野小学校4年生他2校及び下水道協会東京支部職員等総数267名の見学者に施設説明を行う。	◎	勇払下水処理センター	◎
					下期	学校等団体の要請により、施設見学やインターンシップの場を業務に支障のない範囲で提供する。	下水道協会道南支部事務職員、他1件、15名の見学者に施設説明を行った。	◎		



環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			84	可能な範囲内で、対象事業所等への立入調査、水質検査を実施し指導を行う	上	対象事業所等の立入調査を可能な範囲内で行う。	昨年度の水質超過事業所を中心に立入調査・清掃指導及び水質検査を実施	◎	下) 施設管理課	◎
					下	対象事業所等の立入調査及び水質検査を可能な範囲内で行う。	対象事業所の水質検査を実施。又、水質超過事業所に注意書を持参し、清掃及び水質検査の実施を指導	◎		

(施策) 安全な海の恵みを守る

安全な水産物の産地として、海洋資源の保全と育成に努める	◎：6目標 ○：0目標 一：0目標 ×：0目標	◎	85	関係機関連携のもと、地元水産資源の情報把握・整理を行う	上	関係機関実施の資源調査に可能な範囲で協力を行なう。	関係機関、漁協と共にホッキ漁の冬漁場東部海域を対照にホッキ貝の資源量調査を実施し、報告書が提出された。	◎	農業水産課	◎
					下	〃	関係機関、漁協と共にホッキ漁の冬漁場東部海域を対照にホッキ貝の資源量調査を実施し、報告書が提出された。	◎		
			86	関係機関との連携のもと、関係法、条例、協定に基づく、監視、規制・指導の徹底し、河川の水質汚濁を防止する。	上	協定に基づく立入調査を行い、必要に応じ指導を行う。	上期に予定していた11社立入調査を実施した。	◎	環境保全課	◎
					下	協定に基づく立入調査を行い、必要に応じ指導を行う。	下期に予定していた8社立入調査を実施した。	◎		
			87	合流改善事業の計画的実施	上	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	策定完了	◎	下) 計画課	◎
					下	合流式下水道の改善が進むよう、事業内容を検討する	策定完了	◎		
			88	水産資源保護対策の一環として、漁業関係者や関係行政機関連携のもと不法投棄監視体制の整備検討を行う。	上	関係機関で実施の不法投棄防止対策に可能な範囲で協力を行なう。	関係機関・町内会とともに、海岸清掃を実施した。	◎	農業水産課	◎
					下	〃	関係機関とともに、漁港区内の清掃を実施した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況		担当課	評価
			89	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る。	上 期	実施予定なし	11月に予定しています。関係部署と連携をとって要望します。	◎	緑地公園課	◎
					下 期	関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う。	11月に国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う。	◎		
			90	資源育成のため、漁礁設置事業等を計画的に実施する。	上 期	関係機関と連携・協力し、苫小牧海域における今年度の魚礁の設置場所及び接地形態等を協議する。	道の魚礁設置工事に伴う工事現場の土地借用の協議を実施した。また、漁協と共に間伐材魚礁の製作打合せを行い、沈設に向けて協議した。	◎	農業水産課	◎
					下 期	関係機関と連携・協力し、魚礁の作製・設置作業を実施する。	道が実施する水産基盤事業により、苫小牧市沖合い海域にFP漁礁370基及び鋼製漁礁4基を設置した。	◎		

(施策) 多様な生物の生息環境である湿原とその周辺を一体的に保全する

野生生物の生活圏となる森林の確保を図るなど、多様な生物と一緒に生きられる豊かな環境の整備に努める	◎：5目標 ○：1目標 —：2目標 ×：0目標	○	91	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う。	上 期	自然保護に有用な調査研究結果の収集を行う。	サンクチュアリー等から情報収集を行った。	◎	環境生活課	◎
					下 期	自然保護に有用な調査研究結果の収集を行う。	サンクチュアリー等から情報収集を行った。	◎		
			92	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う	上 期	申し出の都度検討を行う。	—	—	環境生活課	—
					下 期	申し出の都度検討を行う。	全地区指定の申し出はなかった	—		
			93	条例により開発規制及び指導を行う。	上 期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。	◎	環境生活課	◎
					下 期	条例の周知とともに、申請のあった都度審査を行うとともに、必要に応じ指導を行う。	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況									
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価			
			94	関係団体との連携のもと、飼い方のルール啓発指導を行う。	上	ペットの飼い方に関する啓発の実施とともに、必要に応じ、飼い方の指導を行う。	市の広報紙に掲載し、苦情対応を行った。	◎	環境生活課	◎		
					下	ペットの飼い方に関する啓発の実施とともに、必要に応じ、飼い方の指導を行う。	苦情等の対応を行った。	◎				
			95	所管官庁で実施する外来種の動植物の投棄及び放流などの防止対策に必要な応じ協力を行う。	上	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行う。	—		—	—	環境生活課	—
					下	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行う。	要請はなかった。		—			
			96	所管官庁で実施する捕獲事業に協力をするとともに、市独自でもアライグマの捕獲を行う。	上	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う。	アライグマの捕獲を行った。		◎	環境生活課	◎	
					下	所管官庁からの要請の都度、可能な範囲で協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う。	市独自の捕獲のほか、市民を従事者としての捕獲を行った。		◎			
			97	「自然ふれあい教室」の実施や、野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する。	上	啓発事業の実施	「自然ふれあい教室」、「野鳥ポスター展」、「探鳥会」等を実施した。		◎	環境生活課	◎	
					下	啓発事業の実施	「自然ふれあい教室」、「朝、マガンを見る会」、「水鳥写真展」を実施した。		◎			
			98	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した		○	環境保全課	○	
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した		○			

環境目的達成状況			環境目標達成状況								
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価			
<b>(施策) 自然観察会など自然とふれあい学ぶ機会の充実や人材活用を進める</b>											
地域の人材を活用した、地域や学校での自然とふれあい学ぶ機会の充実	◎：3目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	99	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○	
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○			
			100	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動支援策について検討を行う	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○	
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○			
			101	「自然ふれあい教室」の実施や、野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する。	上	啓発事業の実施	「自然ふれあい教室」、「野鳥ポスター展」、「探鳥会」等を行った。	◎	環境生活課	◎	
					下	啓発事業の実施	「自然ふれあい教室」、「朝、マガンを見る会」、「水鳥写真展」を実施した。	◎			
			102	自然とふれあいながら環境保全の大切さを学習する機会を市民に提供する	上	自然ふれあい環境教室を実施する。	7月27日に市民を対象にアルテンで「せせらぎスクール」を実施（参加者60名）	◎	環境保全課	◎	
					下	実施予定なし	—	—			
			103	リーダー養成事業(小5～高3)でサマーキャンプ・ウインターキャンプによる野外生活体験の実施	上	「サマーキャンプ」実施計画の策定及び開催	平成18年8月11日～13日に開催	◎	青少年課	◎	
					下	「ウインターキャンプ」実施計画の策定及び開催	平成19年1月13日～14日に開催	◎			
			<b>(施策) 自然とふれあい学ぶ場の拠点化やネットワーク化を推進する</b>								
			自然とふれあい学ぶ場を作り、ネットワークで結ぶ	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	104	処理センターの上部空間や場内空間の緑化推進を図り、自然とふれあい場として開放を行う。	上	パークゴルフ場や子供の遊び場として随時開放を行なう	多数の老人がパークゴルフに、多数の子供がサッカー、キャッチボールに開放場所を利用していた。	◎
下	定期的に芝刈りを行い、自然とふれあう場を提供する。	多数の老人がパークゴルフに、多数の子供がサッカー、キャッチボールに開放場所を利用していた。						◎			

環境目的達成状況			環境目標達成状況								
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価			
			105	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める。	市民植樹祭の実施や、町内会や学校への緑化支援の実施	5月に高丘森林公園内で第36回市民植樹祭を実施。また、22町内会と4団体及び29小中学校に対し緑化樹木等の支援を実施。	◎	緑地公園課	◎		
					地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	11月にウトナイユースホステル跡地で、森林復旧に向け植樹の協力を受ける。	◎				
			106	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○	
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○			
			<b>(施策) ゴミになるものは買わず、適量購入の暮らしを実現してゴミの減量を図る</b>								
			ゴミになるものを買わないようにし、使い捨ての生活様式を改めてゴミの減量を図る	◎：2目標 ○：0目標 一：0目標 ×：0目標	◎	107	家庭系廃棄物の収集有料化の検討を実施。	上	検討実施	有料化を実施する前にごみのリサイクル・分別・減量化を推進する	◎
下	検討実施	有料化を実施する前にごみのリサイクル・分別・減量化を推進する					◎				
108	出前講座及びクリーン懇談会での啓発、市民からの照会対応実施	上				・出前講座及びクリーン懇談会での啓発実施 ・市民からの照会対応実施	出前講座・クリーン懇談会の要望があり実施又市長出席のまちかどミーティングの開催で啓発を行なう、市民からの相談はその都度対応した	◎	清掃事業課	◎	
		下				・出前講座及びクリーン懇談会での啓発実施 ・市民からの照会対応実施	出前講座・クリーン懇談会の要望があり実施又市長出席のまちかどミーティングの開催で啓発を行なう、市民からの相談はその都度対応した	◎			

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価	
事業者・消費者・行政の連携によりゴミ発生抑制を進める	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	109	市民意識アンケート調査結果を参考に、ごみ排出抑制のための市民・事業者・行政による事業の推進を図る。	上 期	・（仮称）ノーレジ袋推進連絡協議会を設立する。	設立に向けて、スーパー、コンビニ等の聞き取り調査を行った。	資源リサイクル推進室	○
					下 期	・（仮称）ノーレジ袋推進連絡協議会が行う事業を検討する。	新年度情報交換の場を設ける方向で確認を得る。		

（施策）物を大切に使うことにより、ゴミの発生を抑制する

自分で作ったり修理する楽しみを暮らしに取り入れ、物を大切に作る生活を実践する	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	110	リサイクルプラザ講座の実施により、修理、修繕の知恵・技術の普及啓発を行う。	上 期	・家具、自転車の修繕や手入れ指導等の講習を行う。	リサイクルプラザ講座実施を周知し、7名が参加した。	資源リサイクル推進室	◎
					下 期	・家具、自転車の修繕や手入れ指導等の講習を行う。	リサイクルプラザ講座実施を周知し、2名が参加した。		
			111	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	環境保全課	○
					下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した		
			112	大型ごみとして排出されたなかから、簡易な修繕、整備により再生した家具、自転車等をリサイクルプラザで、展示、販売事業を行う。	上 期	・再生品の展示、販売を隔月で行う。	5、7、9月の3回開催し、270点を展示した。	資源リサイクル推進室	◎
					下 期	・再生品の展示、販売を隔月で行う。	11、1、3月の3回開催し、270点を展示した。		

（施策）ゴミの分別を徹底し、再生利用（リサイクル）による市場での循環を実現する

ゴミの分別の細分化と市場の形成により、ゴミが資源として循環する仕組みを実現する	◎：7目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	113	コンポスト容器等購入助成を行う。	上 期	・コンポスト等の購入費助成を行う。	5・6月に市民周知し、コンポスト69個、電動生ごみ処理機29台の助成を行った。	資源リサイクル推進室	◎
					下 期	・コンポスト等の購入費助成を行う。	上期で予定目標個数の助成をおこなったため、実施しなかった。		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価	
			114	ダンボールコンポストの適切な使用方法と堆肥の活用方法を合わせて普及を図る。	・出前講座やリサイクルプラザ内に展示して普及を図る。	2団体から依頼があり、74人が参加した。また、リサイクルプラザ内の展示も継続して行った。	◎	資源リサイクル推進室	◎
						・出前講座やリサイクルプラザ内に展示して普及を図る。	5団体から依頼があり、1074人が参加した。また、リサイクルプラザ内の展示も継続して行った。		
			115	リサイクルを円滑に進めるため、資源物の出し方等に周知徹底を図る。	・広報「とまこまい」に随時掲載する。	5月・8月号で、びん、ペットボトルの「キャップ」についての啓発を行った。	◎	資源リサイクル推進室	◎
						・広報「とまこまい」に随時掲載する。	11・12月号で、啓蒙を行った。ごみの減量とリサイクル及び、びん・ペットボトルのキャップについての啓発を行った。		
			116	関係団体との連携を強め、情報提供を行う。	・集団回収実施団体等に対する情報発信を行う。	8月に総会を開催し、42団体が出席した。	○	資源リサイクル推進室	○
						・集団回収実施団体等に対する情報発信を行う。	10月に「リサイクルニュース」を発行し138団体に情報発信を行った。		
			117	出前講座及びクリーン懇談会での周知、市民からの照会対応等による意識向上	・出前講座及びクリーン懇談会での周知 ・市民からの照会対応	出前講座・クリーン懇談会の要望があり実施又市長出席のまちかどミーティングの開催で周知を行なう、市民からの相談はその都度対応した	◎	清掃事業課	◎
						・出前講座及びクリーン懇談会での周知 ・市民からの照会対応	出前講座・クリーン懇談会の要望があり実施又市長出席のまちかどミーティングの開催で周知を行なう、市民からの相談はその都度対応した		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）	進捗状況	担当課	評価		
			118	資源物対象品目拡大の検討を進める。	上期	容り法に基づく品目拡大の検討を行う。	検討についての業務委託を実施した。	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	容り法に基づく品目拡大の検討を行う。	苫小牧市一般廃棄物処理基本計画を策定し実施することになった。	◎		
			119	既存受け入れ団体の情報を広く周知し、ごみの資源化を推進する。	上期	・トイレ等の資源物回収事業所、団体等の調査を行う。	ノーレジ袋運動の取り組みに併せて聞き取り調査を行った。	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	・トイレ等の資源物回収事業所、団体等と協議を行い周知を行う。	新年度、懇親会を開催し、協議する事の確認を取った。	◎		
			120	再生品の利用促進のため、啓発を行う。	上期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、展示、販売開催を周知する。	ホームページ、広報「とまこまい」等を活用して実施した。	◎	資源リサイクル推進室	◎
					下期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、展示、販売開催を周知する。	ホームページ、広報「とまこまい」等を活用して実施した。	◎		

(施策) 温室効果ガスの排出を減らす生活習慣を実現する

公共交通機関や自転車の利用促進のほか、日常での省エネルギーに努める	◎：3目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	121	国や団体が実施している各種助成制度や優遇策等の情報提供を行う。	上期	市民団体等から相談の都度、情報提供を行う。	市民団体等からの相談はなかった。助成制度の情報は把握している。	—	環境保全課	—
					下期	市民団体等から相談の都度、情報提供を行う。	市民団体等からの相談はなかった。助成制度の情報は把握している。	—		
			122	推進会議、活動団体等との連携により、自転車利用促進対策検討する。	上期	「自転車でコツコツ(CO2CO2)ダイエット大作戦」(自転車利用モニター)の実施	6～9月の4か月間30名がモニター実施。下期に結果のとりまとめを行う。	◎	環境保全課	◎
					下期	実施結果を踏まえ、次年度の対策を検討する。	結果を集約し、当課HPに公表した。次年度は「家庭でできる省エネライフのすすめ」を実施する。	◎		



環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			123	環境家計簿事業の推進を図る。	上	環境家計簿「CO2CO2（コツコツ）節約大作戦」の希望者配布及びモニター実施	6～9月の4ヶ月間、30名がモニターに実施。下期にとりまとめを行う。	◎	環境保全課	◎
					下	環境家計簿「CO2CO2（コツコツ）節約大作戦」の希望者配布及び出前講座での普及実施	結果を集約し、当課HPに公表した。希望者にも配布した。	◎		
			124	関係機関連携のもと、省エネ法の周知・指導を行う。	上	建築確認申請時に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る	建築基準法の申請に伴う省エネ法による計画書の提出は、10件あり、いずれも省エネ基準に適合していた。	◎	建築指導課	◎
					下	建築確認申請時に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る	建築基準法の申請に伴う省エネ法による計画書の提出は、12件あり、いずれも省エネ基準に適合していた。	◎		

(施策) 家庭や地域レベルでの代替・自然エネルギーの導入

地元産の天然ガスの利用拡大と、効率的なエネルギー使用により環境負荷の低減を図る	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	125	産官学の連携により天然ガスの利用促進について検討を行う。	上	「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」への参加・協力の実施	北海道天然ガス利用促進協議会主催の「天然ガスセミナーinきたみ」（9月15日）に参加できなかったが、資料を関係部署に回覧した。	○	工業労政課	○
					下	「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」への参加・協力の実施	北海道天然ガス用促進協議会理事会に出席し、19年度事業計画を決定した。（12月）	◎		
			126	・国や団体が実施している各種助成や融資など支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う	上	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行うとともに、支援制度の検討を行う。	事業者により「天然ガス採掘に関する新技術」の国際特許取得及び補助制度についての相談1件に対応した。（9月）	◎	工業労政課	◎
					下	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う。	事業者の行う「CNGスタンド設置に係る調査」に協力すると共に、今後の展開について意見交換をした。（1月）	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
化石燃料に替わる自然エネルギーの導入の促進を図る	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	127	住宅への自然エネルギー普及を考慮に入れた、リフォーム支援制度(利子補給)のPRを行う	上期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	住宅リフォーム支援事業として本市が利子補給する制度であるが、今期における、住宅への自然エネルギーを取り入れる融資はなかった。	○	建築指導課	○
					下期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	住宅リフォーム支援事業として本市が利子補給する制度であるが、今期における、住宅への自然エネルギーを取り入れる融資はなかった。	○		
			128	・国や団体が実施している各種助成や融資など支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う	上期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行うとともに、支援制度の検討を行う。	市民より「ペレットストーブ」導入及び補助金についての相談1件に対応した（9月）	◎	工業労政課	◎
					下期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う。	事業者の行う「木質ペレットの製造・販売」を支援するため、市から国に対して補助金の申請を行い、交付決定される。（11月）	◎		

(施策) 健康に配慮した安全な食材の確保

近隣市町を含めた産地と消費地の交流システムを構築し、有機栽培、旬の食材など安全な食材の積極的な利用を図る	◎：3目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	129	関係行政機関や農協、地元スーパーなどとの連携・協力により、「北のクリーン農業」の推進とともに、クリーン農産物の流通を促進する	上期	所管の北海道や農協からの要請の都度、可能な範囲内で協力を行なう。	広域農協主催の農業振興対策協議会会議に出席、「農業フェア」「フラワーフェスタ」などに積極的に後援、参加し、クリーン農業、地産地消を推進した。	◎	農業水産課	◎
					下期	地元農協からの要請の都度、可能な範囲内で協力を行なう。	11月に広域農協主催の「食と農を考えるフォーラム」に後援、参加し、クリーン農協を推進した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			130	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		
			131	「ふるさと農園事業」の推進とともに、学習体験の場として、学校や町内会への優先開放を行う。	上	ふるさと農園事業を行い、老人、子供会を優先に割り当てを行う。	258区画に対し、237人の申込みがあった。内高齢者118人に区画を優先的に割り当て、保育園の使用についても優先して割り当てた。	◎	農業水産課	◎
					下	農園閉園まで有効利用を農園利用者に働きかける。	11月末日の閉園まで有効利用を働きかけることが出来た。	◎		
			132	遊休農地の実態把握を行い、体験農園としての活用実現可能性の検討を行う。	上	検討の実施	農業委員会で遊休農地の調査を行ったが、体験農園として活用できる遊休農地は無かった。	◎	農業水産課	◎
					下	実施予定なし	計画通り	—		

**（施策）人の健康と生活環境を守る適正な対策を進める**

有害と疑われる物質の利用・排出の削減を図り、適正管理する	◎：2目標 ○：1目標 —：2目標 ×：0目標	○	133	有害大気汚染物質による大気汚染の状況把握のため調査を実施し公表する。	上	調査実施及び結果公表	環境基準等設定項目について調査（14項目）。結果はすべて問題なく、下期に市環境白書で公表する。	◎	環境保全課	◎
					下	調査実施及び結果公表	環境基準等設定項目について調査（14項目）。結果はすべて問題なく、19年環境白書にて公表	◎		
			134	市内の有害化学物質の排出・移動と適正管理に関する情報を収集し、提供を行う。	上	市民等からの要請の都度、関係機関との連絡調整を行い、情報を提供する。	市民等から要請がなかった。	—	環境保全課	—
					下	市民等からの要請の都度、関係機関との連絡調整を行い、情報を提供する。	市民等から要請がなかった。	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
		—	135	関係機関と連携の下、事業者に対し、P R T R制度、MS D S制度の周知を行う。	上	所管官庁からの依頼に基づき、可能な範囲で協力を行う。	当該期間、連絡調整を必要とする事項はなかった。	—	環境保全課	—
					下	所管官庁からの依頼に基づき、可能な範囲で協力を行う。	当該期間、連絡調整を必要とする事項はなかった。	—		
			136	アスベストに関する市民等からの相談の受付対応と、必要に応じ情報の提供を行う。	上	市民等からの相談の都度、対応を行う。	市民から相談があった場合、その都度対応するが、直接対応はなかった。	—	環境保全課	○
					下	市民等からの相談の都度、対応を行う。	市民から相談があった場合、その都度対応した。	○		
			137	関係機関連携のもと、シックハウスを未然に防止するための対策を行う。	上	シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う。	確認申請時に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制・指導を行い、完了検査時にも現場を確認し、指導を行っている。	◎	建築指導課	◎
					下	シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う。	確認申請時に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制・指導を行い、完了検査時にも現場を確認し、指導を行っている。	◎		
安全・安心な環境を未来世代に継承する	◎：0目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	—	138	市民も参加する企業立地審議会において、市民の意見を取り入れながら、調査審議を行う。	上	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—	空港港湾課	—
					下	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—		

(施策) 公害のない安心できる暮らしの創造

様々な公害に対する基準等の遵守はもとより、自主基準による抑制対策を講じる	◎：5目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	139	新規に協定を締結又は改定の際、関係機関との連携及び事業者との協議のもと、新たな規制物質の追加等の検討を行う。	上	協定改定及び新規締結の都度、検討実施	1社新規に締結した。	◎	環境保全課	◎
					下	協定改定及び新規締結の都度、検討実施	新規締結等なし	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			140	関係機関との連携のもと、各発生源や一般環境の監視と、関係法・条例の周知・指導を行う。	上 期	・常時監視監視の実施 ・法及び協定に基づく立入調査実施	一般環境騒音調査の実施。協定工場22社を立入実施した。	◎	環境保全課	◎
					下 期	・常時監視監視の実施 ・法及び協定に基づく立入調査実施	一般環境騒音の常時監視を実施した。また法条例に基づく立入調査を実施し、届出不備等があった事業場の指導を行った。協定工場すべて実施	◎		
			141	航空機騒音監視の徹底と、必要に応じて空港設置者及び発生源に対する要請や住民への情報提供ならびに関係機関との調整を行う	上 期	・常時監視と住民への情報提供実施。 ・必要に応じ関係機関への対策要請を行う。	常時監視の実施と住民への情報提供を実施した。	◎	環境保全課	◎
					下 期	・常時監視と住民への情報提供実施。 ・必要に応じ関係機関への対策要請を行う。	常時監視の実施と住民への情報提供を実施し、状況により関係機関へ対策を要請した。	◎		
			142	自動車騒音状況の悪化や苦情発生等がある場合、関係機関への働きかけを行う	上 期	調査を行い、状況悪化や苦情があった際、必要に応じ道路管理者等に対策を要請する。	市内の主要道路9箇所自動車騒音状況の調査を実施。結果については下期にとりまとめる。なお、自動車騒音に関する苦情はなかった。	◎	環境保全課	◎
					下 期	調査を行い、状況悪化や苦情があった際、必要に応じ道路管理者等に対策を要請する。	市内の主要道路10箇所自動車騒音状況の調査を実施。結果については下期にとりまとめる。なお、自動車騒音に関する苦情はなかった。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			143	関係機関との連携協力のもと、市内主要道路の低騒音舗装を計画的に進める。	上	関係機関との連携のもと市内主要道路の騒音・振動・悪臭の防止及び関係機関協議への参加と連携の強化。	市道一条1号道線(1条通)を低騒音化するための舗装工事を施工している。	◎	道路建設課	◎
					下	関係機関との連携のもと市内主要道路の騒音・振動・悪臭の防止及び関係機関協議への参加と連携の強化。	市道一条1号道線(1条通)を低騒音化するための舗装工事を施工した。	◎		
			144	苫小牧市企業立地審議会条例に基づき、同審議会において審議を行う。	上	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—	空港港湾課	—
					下	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う。	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった。	—		

(施策) だれもが安心して暮らせるまちづくり

誰もが安心して生活できるように、バリアフリーの考え方に基づいて生活空間を整備する	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	145	バリアフリー整備の際、事前に障害者等関係者から意見を聴取する。	上	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じ意見聴取を行う。	新市立病院正面玄関の点字ブロックについて、現地確認してもらった。	◎	社会福祉課	◎
					下	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じ意見聴取を行う。	前年度、肢体不自由者からサンガーデンの障害者駐車場の段差の改善について意見をいただき18年度整備を実施。	◎		
			146	「福祉のまちづくり推進計画」に基づき公共施設バリアフリー化事業を実施する。	上	福祉のまちづくり条例及び福祉のまちづくり推進計画の周知実施	○条例及び計画を課のHPに引き続き掲載した。 ○計画及びバリアフリーマップを窓口で配布	◎	社会福祉課	◎
					下	公共施設バリアフリー化事業の実施及び次年度事業検討	18年度バリアフリー化事業を実施した。19年度事業としては、身体障害者用駐車場整備として2施設を予算化。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			147	「道路の構造基準」によりバリアフリーを考慮した整備を推進する。	上期	広い歩道を新たに整備するときには可能な範囲内で人にやさしいまちづくりに心がける。	対象路線について施工している。	○	道路建設課	○
					下期	広い歩道を新たに整備するときには可能な範囲内で人にやさしいまちづくりに心がける。	対象路線について施工している。	○		
過去の教訓を活かし、災害に強い街づくりを進める	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	148	関係機関との連携のもと「苫小牧市地域防災計画」の点検・見直しを必要に応じて行うとともに、その結果を公表する。	上期	必要に応じ、「苫小牧市地域防災計画」の点検・見直しを行う。	点検中	—	防災主幹	◎
					下期	必要に応じ、「苫小牧市地域防災計画」の点検・見直しを行う。	計画を見直した	◎		
			149	関係部署連携のもと、一時避難場所、広域避難地、防災拠点となる公園の整備を計画的に進める。	上期	日の出公園の整備実施	H18年度の整備は予定どおり実施された。	◎	緑地公園課	◎
					下期	日の出公園の整備実施	H18年度の整備は予定どおり実施された。	◎		

**（施策）環境のことを考えた消費行動の促進**

消費者への正しい情報、学習機会の提供	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	150	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○	環境保全課	○
					下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した	○		

**（施策）歴史的たたずまいを保全し、新たな活用を組み込んだ景観づくり**

苫小牧らしい個性を感じさせる都市景観を市民参加のもとで形成する。	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	151	関連施設や団体との連携のもと、郷土学習の機会の充実を図る。	上期	学習情報の収集・提供	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに関連施設とともに郷土学習の機会を設けている。	◎	生涯学習課	◎
					下期	学習情報の収集・提供	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに関連施設とともに郷土学習の機会を設けている。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 地域に根ざした建物を大切にし、人の暮らしの似合う町を創造する</b>										
市民参加のもとで うのおい・やすら ぎの感じられる景 観づくりを進める	◎：0目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	—	152	都市計画課ホームページや 出前講座の実施により都市 景観づくりの方針について 周知を図るとともに、市民 提言の受付を行う。	上期	市民等からの要請により講座を 実施する。提言は随時受付を行 う。	市民等からの講座の要請はな かった。	—	都市計画課	—
					下期	市民等からの要請により講座を 実施する。提言は随時受付を行 う。	市民等からの講座の要請はな かった。	—		
<b>(施策) 産官学民の連携により循環型社会を構築する</b>										
さまざまな連携に よりゼロエミッ ションを進める	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	153	建設リサイクル法の周知と 指導を行う。	上期	同法による全国一斉パトロール を5月24日実施し指導を行 う。	今期の建設リサイクル法による 届出件数は、294件であり、 5月24日のパトロールによる 36件の解体等の現場における 違反はなかった。	◎	建築指導課	◎
					下期	同法による全国一斉パトロール を10月16日計画し指導を行 う。	10月16日のパトロールによ る34件の解体等の現場におけ る違反はなかった。	◎		
			154	環境保全活動に関する助成 など支援制度の情報を収集 し、提供を行う。	上期	HPで随時情報を提供するとと もに、企業等から相談にも、そ の都度対応する。	企業等からの相談はなかった。 助成制度の情報収集は行ったが HP掲載は下期に行う。	—	環境保全課	○
					下期	HPで随時情報を提供するとと もに、企業等から相談にも、そ の都度対応する。	企業等からの相談はなかった。 省エネルギー、新エネルギー関 連助成制度についてHPに掲載 した。	○		
苫小牧と周辺地域 を含めた、生産者 と流通業者、消費 者、行政による、 広域地産地消を推 進する	◎：4目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	155	地場生産物や技術利用促進 のため産官学民による連携 体制を整備する。	上期	「次世代型グリーンビジネス道 央ベルト構築事業」への協力を 行う。	具体的プランである「道央地域 における企業間連携を基礎とし た副産物、未利用エネルギー活 用の最適化方策調査」事業の支 援を決定。委員会委員に部長が 就任した。(9月)	◎	工業労政課	◎
					下期	「次世代型グリーンビジネス道 央ベルト構築事業」への協力を 行う。	「道央地域における企業間連携 を基礎とした副産物、未利用エ ネルギー活用の最適化方策調 査」検討委員会に参加した。 (10月、3月)	◎		



環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価				
			156	地場生産物や技術利用促進のため産官学民による連携体制を整備する。	上	北海道や魚組、農協主催で関連する会議があった場合の参加とともに、可能な範囲で事業協力の実施。	8月27日開催された広域農協主催の「第6回広域農業フェアー」を後援実施した。また、市の貝ホッキ貝の消費拡大を図るホッキフェスタ実行委員会に参加した。	◎	農業水産課	◎			
					下	北海道や魚組、農協主催で関連する会議があった場合の参加とともに、可能な範囲で事業協力の実施。	11月に広域農協主催の「食と農を考えるフォーラム」に後援、参加した。	◎					
			157	地場の生産物や技術の情報収集を行い、広く発信する。	上	実施予定なし。	実施予定なし。	—	工業労政課	◎			
					下	「企業データブック（製造業）」の作製	「企業データブック（製造業）」を作製し、インターネットに掲載（3月）	◎					
			158	地場の生産物の情報収集を行い、広く発信する	上	樽前交流センター等での交流事業の実施や、市の貝ブランド化を推進し、広く地場生産物の情報発信を行う。	樽前交流センターで「栽培教室」を開講しているが、内17区画が樽前地区以外の市民が利用しており、都市部との交流促進が図られた。また、漁協が申請した地域団体商標登録に必要な各種参考資料を提供すると共にブランド化推進に向けた協議を実施した。	◎	農業水産課	◎			
					下	〃		◎					
			<b>（施策）環境負荷の少ないエネルギーへの転換を進める</b>										
			太陽光や風力などの自然エネルギーや、天然ガスの利用促進を図る	◎：2目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	159	市内事業者に対し、新エネルギーや効率的なエネルギー使用の普及に向けた情報を提供する	上	企業等から相談の都度、情報提供や関係部署又は機関への連絡調整を行う。	企業等からの相談はなかったが、助成制度の情報は把握している	—	環境保全課	—
								下	企業等から相談の都度、情報提供や関係部署又は機関への連絡調整を行う。	企業等からの相談はなかった。	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価				
			160	国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う	上期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う。	NEDOと地球温暖化防止協会との共同研究である風力発電FT事業に引き続き協力した。（8月終了）	◎	工業労政課	◎			
					下期	市民や事業者から相談のあった都度、対応を行う。	事業者の行う「木質ペレットの製造・販売」を支援するため、市から国に対して補助金の申請を行い、交付決定される。（11月）	◎					
			161	下水汚泥処理過程で発生する消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として利用する。また、このことを先進事例として広く紹介する。	上期	消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する。	ガス発電機を2台増設し、消化ガス（メタンガス）の更なる利用に努めている。	◎	西町下種処理センター	◎			
					下期	消化ガス（メタンガス）をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する。	消化ガス（メタンガス）の更なる利用に努めている。	◎					
			地域特性にあったエネルギーやエネルギーの効率的な利用についての研究、開発を産官学民の協力で進める	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	162	市役所内部の推進体制を整備し、地域新エネルギービジョンの具体的推進を図る。	上期	新エネルギー利用促進連絡会議を開催する。	民間団体の自然エネルギー研究会と新エネルギー利用促進連絡会議メンバーによる懇談会を開催し、エネルギー活用等について意見交換を行った。（7月25日）	◎	工業労政課	◎
								下期	新エネルギー利用促進連絡会議を開催する。	新エネルギー利用促進連絡会議を開催し、食廃油燃料（SV O）等について協議を行った。（11月、1月）	◎		
			163	産官学民の連携により、地域特性にあった環境負荷の少ないエネルギーについての調査研究を行う。	上期	各団体のセミナー等に参加し、調査研究を行う。	当期間にセミナー等の参加はなかった。	—	空港港湾課	—			
					下期	各団体のセミナー等に参加し、調査研究を行う。	当期間にセミナー等の参加はなかった。	—					

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 地場の技術を集積した環境産業の育成・進行</b>										
地場技術の集積により環境保全に貢献できる技術を開発し、広く発信する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	164	地場の生産物や技術の情報収集を行い、広く発信する。	上	実施予定なし。	実施予定なし。	—	工業労政課	◎
					下	「企業データブック（製造業）」の作成	「企業データブック（製造業）」を作成し、インターネットに掲載（3月）	◎		
			165	テクノセンターや高専など既存の相談や研究受入施設の情報を広く発信する。	上	「苫小牧市テクノセンターニュース」の発行 「苫テク情報サービス」のメール発信	・「苫小牧市テクノセンターニュース」を発行（6月23日）。 ・「苫テク情報サービス」のメール発信（1～2号）	◎	工業労政課	◎
					下	「苫テク情報サービス」のメール発信	・「苫テク情報サービス」のメール発信（3～5号）を実施	◎		
<b>(施策) 人と自然にやさしい身近に生活できるまちづくり</b>										
人にも環境にもやさしい、歩いて暮らせる地域づくりを実現する	◎：0目標 ○：0目標 —：2目標 ×：0目標	—	166	都市計画課ホームページや出前講座の実施により、地域別のまちづくり構想について市民等に周知を図るとともに、「都市計画提案制度」により、市民・事業者の自発的・自主的なまちづくりの取組みに対する支援、誘導を行う。	上	「都市計画提案制度」に基づく提案を受けた場合、対応を図る。	「都市計画提案制度」に基づく提案はなかった。	—	都市計画課	—
					下	「都市計画提案制度」に基づく提案を受けた場合、対応を図る。	「都市計画提案制度」に基づく提案はなかった。	—		
			167	未利用市有地や施設の利用に関する市民からの要請・要望に対して、可能な範囲内での協力を行う。	上	市民等からの要請の都度、対応を行う	今期間に市民等からの要請はなかった。	—	管財課	—
					下	市民等からの要請の都度、対応を行う	今期間に市民等からの要請はなかった。	—		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 船舶や鉄道による大量輸送システムを推進する</b>										
旅客や物流などによる環境負荷の低減を図る	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	168	国や団体が実施している各種助成制度や優遇策等の情報提供を行う。	上期	HPで随時情報を提供するとともに、企業等から相談にも、その都度対応する。	企業等からの相談はなかった。助成制度の情報収集は行ったがHP掲載は下期に行う。	—	環境保全課	○
					下期	HPで随時情報を提供するとともに、企業等から相談にも、その都度対応する。	省エネルギー、新エネルギー関連助成制度についてHPに掲載した。	○		
			169	関係機関連携・協力のもと、港湾整備を計画的に行う。	上期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける。	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国に対し、港湾整備の促進に関する要望を行なった。	◎	空港港湾課	◎
					下期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける。	特に活動は行なわれなかった。	—		
			170	関係機関連携・協力のもと、埠頭から主要道間の道路を計画的に整備する。	上期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける。	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国に対し、港湾整備の促進に関する要望を行なった。	◎	空港港湾課	◎
					下期	国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける。	特に活動は行なわれなかった。	—		
<b>(施策) 輸送に伴う大気汚染や騒音・振動などの低減を図る</b>										
環境負荷低減のため、道路環境の整備・改善や、低公害車の普及を図る	◎：1目標 ○：2目標 —：1目標 ×：0目標	○	171	国や団体が実施している各種助成制度や優遇策等の情報提供を行う。	上期	HPで随時情報を提供するとともに、企業等から相談にも、その都度対応する。	企業等からの相談はなかった。助成制度の情報収集は行ったがHP掲載は下期に行う。	—	環境保全課	○
					下期	HPで随時情報を提供するとともに、企業等から相談にも、その都度対応する。	省エネルギー、新エネルギー関連助成制度についてHPに掲載した。	○		
			172	簡易測定器を利用した大気調査や酸性雨調査など市民参加による環境調査を定期的実施し、環境意識の高揚を図る。	上期	「夏休み自由研究お助けキット」の希望者配布と、結果取りまとめ公表	事業について見直し、大気調査として、スターウォッチングを実施した。	○	環境保全課	○
					下期	次年度実施に向けた検討及び予算措置	「夏休み自由研究お助けキット」は検討の結果、次年度から中止することとした。	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			173	植樹帯の伴う市内主要道路新設時は、街路樹を計画的に植栽し、大気汚染や騒音等の緩衝機能のための緑化を推進する。	上	植樹帯新設時に大気汚染や騒音等の緩衝機能のための植栽を行う。	今期間には植栽の対象となる路線は無かった。	—	道路建設課	—
					下	植樹帯新設時に大気汚染や騒音等の緩衝機能のための植栽を行う。	今期間には植栽の対象となる路線は無かった。	—		
			174	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する。	上	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう、生垣の刈込みや除草を主体に実施。今後は剪定を主体に実施予定。	◎	緑地公園課	◎
					下	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう、高木の剪定を実施。	◎		
航空機騒音の低減を図る	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	175	航空機騒音監視の徹底と、必要に応じて空港設置者及び発生源に対する要請や住民への情報提供ならびに関係機関との調整を行う	上	・常時監視と住民への情報提供実施。 ・必要に応じて関係機関への対策要請を行う。	常時監視の実施と住民への情報提供を実施した。	◎	環境保全課	◎
					下	・常時監視と住民への情報提供実施。 ・必要に応じて関係機関への対策要請を行う。	常時監視の実施と住民への情報提供を実施し、状況により関係機関へ対策を要請した。	◎		

(施策) 事業所での環境マネジメントシステム導入の推進

多様な組織に対応した環境マネジメントシステムの普及を進める	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	176	推進会議や関係機関との連携により、環境マネジメントシステム普及促進のための対策を検討する	上	推進会議との連携により、説明会等普及活動を実施する	推進会議と協働で6月26日にエコアクション21認証取得説明会を開催した。	◎	環境保全課	◎
					下	推進会議との連携により、説明会等普及活動を実施する	次年度、推進会議と協働で、エコアクション21セミナーを開催することになり予算計上を行った。	◎		
			177	協定締結企業の協定履行についてEMSを活用した監視・指導の検討を行う	上	協定立入において、環境報告書の提示があった場合、チェックを行い、必要に応じて対策の申し出を行う。	立入したすべての企業に対し実施し、その都度内容の評価について報告した。	◎	環境保全課	◎
					下	協定立入において、環境報告書の提示があった場合、チェックを行い、必要に応じて対策の申し出を行う。	立入したすべての企業に対し実施し、その都度内容の評価について報告した。	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 環境学習・環境教育の拠点づくりと人材育成を進める</b>										
市民が自主的に学習し保全活動ができるための活動拠点づくりと人材発掘・育成に努める	◎：0目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	178	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、活動家等との連携による環境教育推進の可能性を検討する	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
				下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○			
			179	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する課程で、活動支援策について検討を行う	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
				下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○			
<b>(施策) 生涯学習のなかで、環境学習を推進する</b>										
自分たちが自然の一員であり、自然とのつながりの中で支え合って生き、暮らしの中で、環境保全についての基本的な知識や地域住民としての役割意識を学ぶ	◎：1目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	180	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、家庭における環境保全活動推進策の検討を行う	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
				下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○			
			181	学校、地域、社会など幅広い場における環境教育を推進するため、環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、対策の検討を行う	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
				下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○			
			182	地域での環境学習推進への協力を行う。	上期	学習情報の提供、市民からの照会対応	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに、市民からの相談の際、関係部署に取り次ぎを行った	◎	生涯学習課	◎
				下期	学習情報の提供、市民からの照会対応	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに、市民からの相談の際、関係部署に取り次ぎを行った	◎			

環境目的達成状況			環境目標達成状況								
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価			
<b>(施策) 学校教育のなかで、環境学習を推進する</b>											
学校教育のなかで、自分たちが自然の一員であり、自然とのつながりの中で支えあって生きていることを学ぶ	◎：2目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	183	市内各小中学校における教育活動の中で、「環境教育」の推進における具体的方策の検討	上 期	環境部局と連携し検討を行う。	市教育研究所の環境教育研究委員会と連携し、副読本等の活用により各学校における環境教育の推進を更に図った。	◎	指導室	◎	
				下 期	環境部局と連携し検討を行う。	引き続き環境教育研究委員会と連携を深め、環境教育の推進を更に進めた。	◎				
			184	学校、地域、社会など幅広い場における環境教育を推進するため、環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、対策の検討を行う	上 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○	
				下 期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○				
			185	学校版ISOの検討および導入にあたり、主管部局の要請に応じ協力を行う。	上 期	主管部局の要請に対し、可能な範囲内で協力を行う。	平成18年度「キッズISO14000プログラム」事業について各小学校に周知した。	◎	学) 総務課	◎	
				下 期	主管部局の要請に対し、可能な範囲内で協力を行う。	平成19年度「キッズISO14000プログラム」事業の募集について各小学校に周知した。	◎				
			186	学校版ISOの導入実現に向けて、他地域での導入事例の収集を行う	上 期	他地域での導入事例の収集実施	道からの照会、インターネット等で他市の状況を把握した。	○	環境保全課	○	
				下 期	他地域での導入事例の収集実施	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○				
			<b>(施策) 市民参加システムの構築</b>								
			苫小牧市環境基本計画推進会議において、環境基本計画の進行管理を行う。	◎：1目標 ○：0目標 —：1目標 ×：0目標	◎	187	協力要請に応じ、可能な範囲内で推進会議への参加・協力を行う	上 期	推進会議の協力要請に対し、可能な範囲内で協力を行う。	今期間に推進会議からの協力要請はなかった。	—
下 期	推進会議の協力要請に対し、可能な範囲内で協力を行う。	今期間に推進会議からの協力要請はなかった。					—				

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			188	環境基本計画の行政内での点検・評価結果について公表を行う。	上	17年度実施状況について点検・評価を行い、公表を行う。	IS014001に、環境基本計画推進に掲げられた取組項目を盛り込み、計画の推進管理を行っている。	◎	環境保全課	◎
					下	実施予定なし	—	—		
まちづくりに市民が参加する機会の拡充を図る	◎：2目標 ○：1目標 —：1目標 ×：0目標	○	189	法、条例等に基づく環境影響評価や公告縦覧の実施について周知を行う。	上	関係機関連携のもと、その都度対応実施	マテック最終処分場の縦覧を行った。	◎	環境保全課	◎
					下	関係機関連携のもと、その都度対応実施	該当なし	—		
			190	自治基本条例（予定）の制定後、市民参加条例の制定作業を進めるため、市民参加の手法や仕組み、情報提供のあり方等について市民参加により検討を行う。	上	自治基本条例の制定・施行、また、市民参加制度の検討に向けた取組を行う。	自治基本条例については、12月議会へ提案するため、慎重に見直し作業を進めているとともに、市民参加制度についても、検討を進めている。	○	企画課	○
					下	市民参加制度のあり方を検討するため、行事や市民組織による検討会議を開催する。	自治基本条例の4月施行に向けて説明会を開催するとともに、市民参加制度についても、検討を進めている。	○		
			191	環境に影響が想定される事業実施及び計画策定の際、法や条例等既存制度に基づき、市民意見反映等の対応を行う。	上	その都度、関係部署連携のもと対応を行う。	当期間に該当する事業や計画策定はなかった。	—	空港港湾課	—
					下	その都度、関係部署連携のもと対応を行う。	当期間に該当する事業や計画策定はなかった。	—		
192	リーダー養成事業で子ども会議（小5～中2）を開催し、「まちづくり」に対する自由な発想や意見を出し合い、市政に対する関心を高めるとともに自主的に社会参加する青少年を育成する	上	「子ども会議」実施日程の検討及び決定	平成18年12月26日～平成19年2月3日（本会議）実施決定	◎	青少年課	◎			
		下	「子ども会議」実施計画の策定及び開催	平成18年12月26日～平成19年2月3日（本会議）実施	◎					



環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
<b>(施策) 市民、行政、事業者、専門機関などの間で、環境情報の共有を進める</b>										
市民参加促進のため、わかりやすい情報の提供・公開に努める	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	193	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、情報提供のあり方について検討を行う	上方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○	
				下方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○				
			194	イントラネットに接続する端末等の整備を計画的に行う。	上 期	端末等の利用状況調査を行う。	9月に全庁調査を実施した。	◎	情報化推進室	◎
				下 期	端末等の更新計画立案を行う。	9月の全庁調査に基づき、翌年度更新分の予算要求を実施	◎			
<b>(施策) 地元や周辺地域との連携づくり</b>										
市民・事業者・行政ならびに周辺地域との連携により、環境課題の解決を図る	◎：2目標 ○：3目標 —：0目標 ×：0目標	○	195	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、地域連携による環境保全の取組について検討を行う	上 期	上方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
				下方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○				
			196	市内各小中学校の「環境教育」の推進に係わる、地域素材の活用や施設・事業所等との連携の在り方についての検討	上 期	環境部局と連携し検討を行う。	キャリア教育等の推進において、関係団体等との調整を行い、施設・事業所との連携の在り方について検討した。	◎	指導室	◎
					下 期	環境部局と連携し検討を行う。	各学校に対し、地域素材を生かした環境教育の推進を働きかけた。	◎		
			197	学校、地域、社会など幅広い場における環境教育を推進するため、環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、対策の検討を行う	上 期	上方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
					下 期	下方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			198	地域での環境学習推進への協力をを行う。	上期	学習情報・指導者情報の収集・提供	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに、関連施設と連携し情報の収集を行った。	◎	生涯学習課	◎
					下期	学習情報・指導者情報の収集・提供	生涯学習課学習便りや生涯学習主幹HPで収集した情報の提供を行うとともに、関連施設と連携し情報の収集を行った。	◎		
			199	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、事業者との連携による環境保全の取組について検討を行う	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
					下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○		

（施策）国内外の他地域との連携づくり

国内外との交流により地球環境問題の影響実態を知り、連携により効果的な対策を進める	◎：2目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	200	環境保全の意欲の推進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を策定する過程で、国際的な視点での取組の検討を行う	上期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○	環境保全課	○
					下期	方針の検討	道の基本方針策定内容や道内他市の状況を調査した。	○		
			201	こども国際交流事業の事前研修の中において、「苫小牧市の概要」の時間内で苫小牧市の環境に対する取組みについて説明の機会を設ける。	上期	事前研修において、苫小牧市の概要説明の際に、環境に対する取り組みを組み入れる。	I S Oの意義、目的及び取組みについて小学生にも分かりやすい形で説明を行った。	◎	国際交流主幹	◎
					下期	実施結果を振り返り、説明資料の点検と次年度に向けた準備を行う。	N Zにおける生態系保全の取組みについて資料を取りまとめた。	◎		
			202	環境基本計画の事業検討および実施において参考とするため、国内外の先進事例の収集を行う。	上期	先進事例の収集と必要に応じ実施に向けた検討を行う。	他市町の取組事例に関する情報を収集した。（温暖化推進計画策定に向け）	◎	環境保全課	◎
					下期	先進事例の収集と必要に応じ実施に向けた検討を行う。	他市町の取組事例に関する情報を収集した。（温暖化推進計画策定に向け）	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム（年度計画）		進捗状況	担当課	評価	
			203	市のホームページや環境白書により、環境基本計画の進捗状況を公表するとともに、市内事業者・団体等の環境保全活動を紹介する	上 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境基本計画の進捗状況の環境白書及びHP掲載に向けた準備実施</li> <li>市内のISO14001認証状況のHP掲載に向けた準備。</li> </ul>	9月までに原稿を担当課に依頼し、作成する準備を進めた。	○	環境保全課	○
					下 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果をホームページに掲載する。</li> <li>環境基本計画の進捗状況を環境白書に掲載する。</li> </ul>	環境基本計画推進事業について、環境白書に掲載した。認証状況を把握した。	○		